

第11回 花巻市市民参画・協働推進委員会 会議録

日時 平成28年4月26日(火)午後1時30分～午後4時10分
場所 花巻市役所本庁舎 3階 302・303 会議室
出席者 委員出席者10名 佐藤良介委員長、小原幸子副委員長、高橋照幸委員、佐藤淑憲委員、葛巻徹委員、藤原裕子委員、岩館大輔委員、平野順子委員、今村眞弓委員、高橋久美子委員、
委員欠席者 5名 高橋正行委員、小笠原恵美子委員、鈴木卯造委員、土田和長委員、鎌田豊子委員
市側出席者13名 佐藤地域づくり課長、佐々木課長補佐、佐藤主任主査兼市民協働係長
生活環境課 山口課長補佐、似内係長、藤原係長
下水道課 多田課長補佐
教育企画課 佐々木課長補佐
秘書政策課 高橋課長補佐、赤坂係長
防災危機管理課 赤沼主任主査兼係長
生涯学習課 上野主任主査兼係長
こども課 八重樫課長補佐
傍聴等 0名

次第 1 開会
2 あいさつ
3 議事
市民参画の事後評価について
5 閉会

1 開会

事務局(佐藤)

皆様方、本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
開会に先立ちまして、本委員会の成立についてご報告をいたします。本日は、花巻市市民参画・協働推進委員会委員15名の方のうち10名のご出席をいただいております。委員会規則第5条の規定により、半数以上の委員が出席されておりますので、本委員会は成立いたしておりますことをご報告いたします。また、本委員会は花巻市審議会等の会議の公開に関する指針により、公開する会議となります。会議の傍聴を希望する方がある場合はこれを認めること、また会議資料及び議事録を市のホームページで公開いたしますことを申し添えます。
それでは、ただいまから第11回花巻市市民参画・協働推進委員会を開催いたします。はじめに、佐藤委員長よりご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ

佐藤委員長

皆さま何かとお忙し中、ご出席いただきありがとうございます。
今日は、27年度、皆さんから事前評価をいただいた案件につきまして、どのように市民参画がなされたのかということをご報告いただきまして、それに基づいて事後評価していただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

事務局(佐藤)

ここから議事に入らせていただきます。議事の進行は佐藤委員長をお願いいたします。

3 議事

佐藤委員長

それでは議事に入ります。はじめに、資料には16件ありますが、これについて事務局より説明をお願いします。

事務局(佐藤)

資料「平成27年度市民参画事後評価一覧」に基づき説明。

- 佐藤委員長 No.1の男女共同参画基本計画について、担当の方説明をお願いします。
- 地域づくり課
(佐々木) 資料に基づき説明。
- 佐藤委員長 5つの方法で市民参画を行ったとのことですが、まず、方法①アンケートについて皆さんからご質問はございませんか。
- 高橋(照)委員 アンケートの回収率について、平均するとだいたいどれくらいとか標準はありますか。
- 地域づくり課
(佐々木) 特に標準というものはありませんが、あまり低いのも…ということにもなりますが、まずは、前回との比較で、前回の回収率を上回っているかということを目安にしました。
- 高橋(照)委員 評価するにあたって、この数字が優れた数字なのか、もう少しがんばらないといけないものなのか判断つきかねる。
- 地域づくり課
(佐々木) まちづくり市民アンケートは毎年行っているので、そちらの状況を確認し、次回報告することとしたいと思います。
- 平野委員 アンケート回収率が前回より向上した要因は何かありますか。
- 地域づくり課
(佐々木) すぐには思い当たりませんが、対象者数自体も、前回1,700人から、今回2,100人と少し増やしたこともあるかもしれません。
- 平野委員 「男女共同参画」というワードが平成15年よりは一般的になり、関心を持ってアンケートに答えるという態度が醸成されたのでは。
- 佐藤委員長 続いて、方法②男女共同参画基本計画検討委員会による素案の策定に関して意見はございませんか。
- 佐藤委員長 計画のキャッチフレーズは決まったんですか。
- 地域づくり課
(佐々木) 「男女(みんな)が互いに認め合いともにきらめくまち」となりました。ワークショップの形式で委員会の方からご意見を頂戴し、さらにパブリックコメントでも意見を頂戴して決定しました。
- 佐藤委員長 それでは、方法③パブリックコメントについてはご質問はありますでしょうか。
- <質問等なし>
- 佐藤委員長 それでは、方法④審議会その他の附属機関における委員の公募、男女共同参画審議会への諮問ということですが、これについては何か質問はございますか。
- 佐藤委員長 当初予定で、私立幼稚園協議会が入っていましたが、結果のところではなくなって

いるのはなぜですか。

地域づくり課 (佐々木) 当初委員に入っていました、年度の途中で委員が亡くなられたため、結果では記載しませんでした。

今村委員 公募の委員は、男女1人ずつですか。

地域づくり課 (佐々木) 特に性別は問わず募集しましたが、どちらも女性になりました。

今村委員 この審議会の男女比はどうなっていますか。

地域づくり課 (佐々木) 14名中、男性7名、女性7名で半々になっています。

佐藤委員長 知識経験者に花巻警察署が加わっているのはなぜですか。

地域づくり課 (佐々木) 今回の計画は、DV防止法にかかわる部分も含んでいるので、これに関してご意見を頂戴したかったのです、入っていただきました。

佐藤委員長 それでは、方法⑤関係団体との意見交換会について、ご質問ございますか。

葛巻委員 対象者の選定はどういった基準でなされたのですか。

地域づくり課 (佐々木) 花巻市女性団体ネットワークの会という団体が、8団体で構成されていますが、女性の活躍の推進ということで、毎年度、女性のつどいを市の共催でさせていただいている団体なので、特にこの団体から意見を聴いてみたいということで選定しました。

高橋(久)委員 計画の内容で、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に定める市町村推進計画に位置付けるもの」とありますが、これについて説明をお願いします。

地域づくり課 (佐々木) 当初は、男女共同参画の部分と、DVの部分だけでしたが、平成27年9月に新しく、女性活躍推進法というものができまして、男女共同参画と重複する部分があったことから、このことについても追加しました。中身としては、自分の意思を尊重しながら、女性も職業生活において、機会が均等に与えられるですとか、昇進ということもありますし、法律の名称は女性となっていますが、ワークライフバランスの充実、働き方の見直しということで、女性だけでなく、男性も女性も取り組んでいくということで、その考えも入れています。

高橋(久)委員 女性が職業生活をするにあたって、どうしても出産や育児は絡んでくるので、そういうことのハンディはあると思う。東京では、保育所問題があるようだが、花巻市ではそういうことはないですか。

地域づくり課 (佐々木) アンケート調査の中で、女性が働きつづけるためには何が必要かという設問がありましたが、やはり保育所などの施設の問題、それから、職場の理解がないといけないという両方の面からの必要なことが浮かび上がってきたので、市としては、制

度を充実させていくこともやっていかなければならないし、あとは私たち自身も、男女理解しあって、協力できる体制、意識を持っていくことが必要であるとまとめさせてもらいました。

佐藤委員長 それでは、評価に入りたいと思いますが、職員チームの評価は、適切であるということですが、方法、周知、実施時期・場所、対象者、結果公表についてご意見あればいただきたいと思います。

<意見等なし>

佐藤委員長 特にないようですので、当委員会としても、適切であるという評価をしてもよろしいでしょうか。

<異議なし>

佐藤委員長 次に新花巻市環境基本計画について、生活環境課より説明をお願いいたします。

生活環境課（似内） 資料に基づき説明

佐藤委員長 方法①市民アンケートについて、ご質問ございますか。

岩館委員 回収率について、さきほども質問がありましたが、ここでも、市民については同じような数字になっている。小学生、中学生の回収率が高くなっているがなぜですか。

生活環境課（似内） アンケートの依頼、回収を学校を通して実施したため高くなりました。

岩館委員 アンケートの回収率は、半分戻ってくればよいほうだということなのか。アンケートは、なぜ小学校4年生、中学校2年生を選んだのですか。

生活環境課（似内） 定点観測というわけではないが、前回の計画策定時と同じ学年に実施しました。前回、なぜこの学年を選んだのかは不明です。

高橋（照）委員 事業所は、市内の200事業所とあるが、この事業所の選定基準は。

生活環境課（似内） ランダムです。
花巻、大迫、石鳥谷、東和の割合は、事業所数に応じていますが、業種はランダムです。

佐藤委員長 では、次に方法②環境審議会について質問はございますか。

葛巻委員 審議委員の構成はどうなっていますか。

生活環境課（似内） 公募による市民、知識経験を有するものということで大学の先生、関係行政機関の職員ということで小学校校長会、森林管理署、県などの関係団体、各種団体とい

うことで商工会議所女性会、花巻青年会議所など7団体の方をお願いしています。

高橋（久）委員 アンケートの回収率は一般市民が一番低くなっている。小学生、中学生よりも一般市民の方に、環境について意識高めてほしいと思うが、今後どのようにして市民の啓蒙を図っていくのか。

生活環境課（似内） アンケートを実施する中で、「環境というどうしても幅広く、どれというのが掴みにくい言葉である」という声が聞こえてきました。第2期の計画ができたところであり、計画の啓発をしていく中で環境保全といったところに目を向けていけるような啓発活動ができれば、おのずとアンケートの回収率も上がるのではないかと考えています。

佐藤委員長 反省点のところで、審議会での意見を踏まえた素案に基づき、パブリックコメントを実施すればよかったとあるが、これは具体的にどういうことですか。

生活環境課（似内） 当初パブリックコメントの前に一度審議会を開く予定だったが、素案ができるのが遅れたため、パブリックコメントのスタートと審議会の開催が重なってしまいました。審議会の中でもたくさん意見をいただき、素案をかなり修正した部分があったので、修正した部分でのパブリックコメントをすることで、広く市民の皆様にお知らせできればよかったと反省しているところです。

小原委員 アンケートの内容は、小学生、中学生にも理解できる内容だったのか。

生活環境課（似内） 小学生、中学生、一般市民では表現を変えています。花巻の環境の良いところはどんなところですか。悪いところはどんなところですか。といった設問になっております。

佐藤委員長 続いて、方法③ワークショップの実施ということですが、これについて何かご質問はありますか。

高橋（照）委員 環境マイスターとはどういう方々ですか。

生活環境課（似内） 平成28年度は21名の方に委嘱しています。

高橋（照）委員 対象者18名とあるが、18名の中に環境マイスターは何人いたのか。

生活環境課（似内） 5名の方に参加していただいています。

佐藤委員長 最後に方法④パブリックコメントについて何かご質問はありますか。

佐藤委員長 反省点は、実施時期が12月から1月にまたがってしまったということか。

生活環境課（似内） どうしても年末や年始は忙しいと思うので、年内にできれば良かったと思っています。

佐藤委員長 それでは、評価に入りたいと思いますが、職員チームの評価は、適切であるということですがいかがでしょうか。

改善点は、スケジュール管理を行いながら進めることというのが書かれていますが、評価としてはいかがでしょうか。

小原委員 適切であるということによいと思います。

佐藤委員長 適切であるという評価をしてもよろしいでしょうか。

<異議なし>

佐藤委員長 それでは、エネルギービジョンについては策定しないとのことですが、ご説明をお願いいたします。

生活環境課（似内） 国では、再生可能エネルギーの固定買取価格の引き下げや出力抑制の適用などの見直しが行われたほか、電力系統の接続可能量の制約などの課題もでてきており、市からの積極的な導入推進が難しい状況にあったことから策定しないこととなったものです。

佐藤委員長 委員のほうからご質問あればどうぞ。

<質問等なし>

佐藤委員長 では、次に、No.4 花巻市一般廃棄物処理基本計画について、生活環境課より説明をお願いします。

生活環境課（藤原） 資料に基づき説明

佐藤委員長 それでは、4つの方法で市民参画を実施したようですが、はじめに方法①市民アンケートについて、何か質問ございますでしょうか。

<質問等なし>

佐藤委員長 それでは、方法②関係団体との意見交換会を実施したとのことですが、何かご質問ございますか。

佐藤委員長 私の方から質問しますが、対象者、当初、花巻市公衆衛生組合連合会が入っていましたが、これが消えて岩手県食品衛生協会花巻支会が加わっていますが、これについてご説明をお願いします。

生活環境課（山口） 方法④の廃棄物減量等推進審議会の方に公衆衛生組合連合会の会長に出席していただいていることと、また、食品ロスの部分が、ごみの減量に有効ではないかということが環境サイドの面から取り上げられておりますので、そちらの方の意見を聴きたいと考えて、このようなメンバー構成にいたしました。

佐藤委員長 方法③パブリックコメントについてということですが。

- 高橋（久）委員 全市民対象となっていますが、生まれたばかりの赤ちゃんから、老人ホームに入って寝たきりのおじいちゃんは意見を出さないと思うのですが。どのような人たちを全市民としているのか。
- 生活環境課（山口） そういう方は意見を寄せることはできないでしょうが、市民に対して周知したいということで、ホームページや公共施設でパブリックコメントを行い、広く意見を求めました。現実には全市民とはならないが、意見を寄せられる方を全員対象とし、全市民としたということで考えていただければと思います。
- 佐藤委員長 広報はなまきと、市のホームページを通じて、一般市民から意見を募集したということですね。
- 生活環境課（山口） そのとおりです。
- 高橋（久）委員 募集して、意見を市の方に言いたい場合は、どういう方法で言うのか。
- 生活環境課（山口） 素案を備え付けてある公共施設に意見を書く用紙も備え付けてありますし、FAX、ホームページで見た方からはメールでも受け付けました。
- 佐藤委員長 それでは、最後に、方法④廃棄物減量等推進審議会への諮問ということですが、これについて何かご質問ございますか。
- 佐藤委員長 当初は2月下旬に答申と記載されていますが、第1回第2回の開催後に、答申まで至らなかったのですか。
- 生活環境課（山口） 第2回で諮問しまして、答申までいただいております。
- 小原委員 一般廃棄物、ごみとかし尿処理については、婦人会などの人は関心を持って、話を聞いておりました。その中で、ごみを減量するためにはどうすればよいかというお話がありましたが、つゆ物は吸い取るようにすること、ビニール物は別にして出すということをやってほしいということが会議で話され、みんな大いに関心をもってもらいたいと感じました。
- 生活環境課（山口） 出前講座で、振興センターよりもっと小さな単位で、ごみの減量について説明する際にはそのようにお願いしておりますし、今後も啓発していきたい。
- 高橋（久）委員 ごみの処理については、膨大な税金が使われていると思いますので、無駄な税金を使わないためにも、一般市民に、ごみを分別して、少なくして出すようにということを、いろんなところで周知徹底していただきたいと思います。広報に載せることもいいですが、読む人が少ないと思うので、いろいろ方法を考えていただきたいと思います。
- 佐藤委員長 今後、市民に対する周知徹底ということで、具体的な方法はあるんですか。

生活環境課（山口） 昨年度、ごみの処理にはお金がかかっていますよとか、汁を一回絞ってから出していただきたいというようなことをDVDに作りまして、出前講座で流したりしておりますし、各振興センターにそれを1枚ずつ置いて何かの時に見ていただくようお願いをしています。また、若い人向けにスマホのアプリを使った周知もできるのではないかと検討しています。

佐藤委員長 それでは、評価に入りたいと思いますが、職員チームの評価は、適切であるということですがいかがでしょうか。

小原委員 適切であるということだと思います。

佐藤委員長 適切であるということによろしいですか。

<異議なし>

佐藤委員長 次に、No.5花巻市污水处理基本計画について、これは、評価無しで、説明のみとなりますので、よろしくをお願いします。

下水道課（多田） 污水处理基本計画は平成26年度策定する予定でしたが、生活環境課において、「一般廃棄物（し尿）処理基本計画」の見直しを行うことがわかり、内容を確認したところ、ほとんどが下水道課の資料を基に作成した計画であったため、生活環境課と調整を行い、法で策定を定められた「一般廃棄物（し尿）処理基本計画」に、「污水处理基本計画」を包括することとしたものです。

佐藤委員長 ご質問等ございませんか。

<質疑等なし>

佐藤委員長 次にNo.6花巻市教育振興基本計画について、ご説明をお願いします。

教育企画課（佐々木） 資料に基づき説明。

佐藤委員長 それでは、2つの方法で市民参画を行ったとのことですが、初めに、方法①花巻市教育振興審議会での審議についてですが、これについて何かご質問ございませんか。

佐藤委員長 私の方から質問させていただきますが、対象者の欄に、12団体ありますが、1回目は15名の出席ということですが、公募委員が3名ということですか。

教育企画課（佐々木） 公募は2名です。

佐藤委員長 そうすると、1回目の15名というのは1人多いのでは。12団体の代表者と、2名の公募であれば、14名ではないか。

教育企画課 校長会からは、若葉小学校と、宮野目中学校の2名を出してもらっているので、

- (佐々木) 15名となります。
- 葛巻委員 4回審議会をされて、一番多いときは意見数47件で、最後は5件と、差がでたのはなぜか。
- 教育企画課 (佐々木) 出席者が多ければ意見が多いというわけではなく、そのときの議題によると思われます。
- 佐藤委員長 市P連のアンケートを実施したとありますが、アンケートはいつ実施したのか。
- 教育企画課 (佐々木) 3回目(10月29日)の審議会で、アンケート結果について話し合っているので、その前に実施しています。
- 佐藤委員長 アンケートを実施した後の審議会だったため、意見数が多かったということも考えられるわけですね。
アンケートはどのような内容だったんですか。
- 教育企画課 (佐々木) 4項目で、1つは、教育に関し不安を感じていることはどういうことですかということ。2つめは、どんな大人になってほしいか。何を大切に子育てしているか。3つめは学校に期待すること。4つめは地域に期待すること。となっています。
- 今村委員 それは役員というよりも、一般に聞くべきことでは。
- 佐藤委員長 市P連の役員は対象何人くらいですか。
- 教育企画課 (佐々木) 小・中あわせて30人くらい。
- 佐藤委員長 当初は市民参画でアンケートの実施というのはなかったんですね。審議会の中で出てということだったんですね。
- 高橋(照)委員 市P連の役員さんがたの個人的な考え方がでたということか。それとも持ち帰って、各学校のPTAの中で協議されてこう出ましたということか。そのへんで大分違ってくるのでは。
例えば小学校中学校であれば、地区懇談会で、それぞれの地区に出かけて、話し合ったものを吸い上げてまとめてこうでしたとやったのかというあたりはどうなんですか。
- 教育企画課 (佐々木) そのあたりは不明です。
- 佐藤委員長 アンケートの結果は、審議会では公表されているんですか。
- 教育企画課 (佐々木) 第3回の審議会でアンケート結果をまとめたものを見ていただいています。
- 佐藤委員長 市P連へのアンケートは市民参画にならないのでしょうか。

- 事務局(佐々木) 特定の団体を選んでの意見聴取にということにはなるかと思うのですが。
- 佐藤委員長 市民アンケートとはまた違うということですね。
- 佐藤委員長 次に、方法②のパブリックコメントの実施について、ご質問ありますか。
- 佐藤委員 効果のところに教育振興について周知することができたとあります。周知する対象は多分市民ということだと思いますが、それはパブリックコメントの目的ではないような。ここに記載すべきことなのか。効果をどう測定したのかということをお聞きしたいです。
- 教育企画課(佐々木) 意見をいただくことが目的なので、周知は一番の目的とは考えていないのですが、計画がありますよということを見ていただいたということで、効果としました。
- 佐藤委員 周知できたというのは、どういう判断基準でしょうか。
- 教育企画課(佐々木) こういう計画がありますよということを見ていただいたということ。
- 佐藤委員 判断基準は、意見数が多かったからということですか。
- 教育企画課(佐々木) 意見は出さなかったが見ていただいたという方もあったと思う。
- 佐藤委員 他の部署のアンケートもそうですが、数値に対する認識が甘いのかなと思う。閲覧者の数もわからないです。意見提出者が10で意見総数が43だったとありますが、数値が多かったから良かったというものではない。例えば、よくNHKでRDDの方式で調査しましたというのがありますが、人口何人に対して何%の数値が得られれば信頼できる数値がとれるという根拠があるんですけど。信頼度が曖昧なままにやってらっしゃるのかなと。信頼できる数値をとっていただきたいと思いました。
- 周知することができたという裏付けは、私は、ないと思います。
- 佐藤委員長 これについては、周知方法は、広報に掲載、ホームページに掲載ということですね。市民の方がこれを見ただろうということを前提として議論しておりますが、その確認というのはまた難しいわけですね。
- 佐藤委員長 それでは、評価に入りたいと思いますが、職員チームは適切であるという評価がありますが、当委員会としてはどのような評価になりますでしょうか。
- 方法として、アンケートの実施があってもよかったのかなという印象は受けるわけですが、その辺についてはいかがでしょうか。
- 佐藤委員 審議会が必要とされたものをやっていないのであれば、改善の余地ありとなるが、審議会を受けて、実施しているので、適切でよいのでは。
- 高橋(照)委員 PTA役員が持ち帰って意見を聴いたのであればかなり信憑性が厚くなるのでし

ようが。

佐藤委員長 市P連の役員30名だけでなく、当初からアンケートの実施も一つの方法として考えられたのではないかと。

今村委員 公募2人だけでなく、より広く一般市民の意見を聴くべきということでアンケートのことが出たのでは。

佐藤委員長 それでは当委員会の評価は、改善の余地ありということで、方法についてということで、これについて、今後市民参画に活かしていただきたいということによろしいでしょうか。

<異議なし>

佐藤委員長 では次に、No.7大迫中学校整備計画について、説明をお願いします。

教育企画課
(佐々木) 資料に基づき説明。

佐藤委員長 2つの方法で、市民参画を実施したということで、初めに、方法①大迫中学校改築促進協議会での審議についてでございますが、これについて何かご質問ございませんでしょうか。

今村委員 第1回から第3回まで、意見提出者の人数は出ていますが、出席者の人数は何人でしょうか。

教育企画課
(佐々木) 構成メンバーは31人いて、資料に掲載しているのは、意見提出者数ではなく、出席者数です。

佐藤委員 予定と実施内容で、対象者が大きく変わっていますが、なぜか教えてください。

教育企画課
(佐々木) 地域の方々から広く意見を聴くためです。

佐藤委員 そういった理由で、当初の予定より開催回数が増え、時期も後ろになったのか。

佐藤委員長 この、予定の1月というのは、27年の1月ですか。

事務局(佐々木) 事前評価の時に、予定は26年の1月上旬となっています。当初25年度策定予定だったようです。

今村委員 大迫中学校PTAの会員は、おそらく100人単位であったかと思うんですけど、その方々の意見を、この小中PTAの方が代表して、促進協議会に臨んだということによいのでしょうか。

教育企画課
(佐々木) 小学校のPTA代表につきましては、大迫、外川目、内川目、亀ヶ森の各小学校のPTA会長さん、副会長さん2名ずつ出いただいています。

高橋（久）委員 予定を変更した理由に木造かRC造にするか協議が発生したことによるとありますが、RCというのはどういうものですか。

教育企画課
（佐々木） 鉄筋コンクリート造りということです。

高橋（久）委員 木造と鉄筋コンクリート造りと大迫中学校は、両方やるということですか。

教育企画課
（佐々木） どちらがよいか検討したということです。

佐藤委員長 それでは、評価に入ってよろしいでしょうか。職員チーム会議では適切であるとのことですが、適切であるとしてよろしいですか。

<異議なし>

佐藤委員長 それでは、No.16 公立保育所再編指針について、説明をお願いいたします。

こども課（八重
樫） 資料に基づいて説明。

佐藤委員長 2つの方法で実施したとのことですが、初めに、方法①関係団体との意見交換会についてご質問ございませんか。

<質問等なし>

佐藤委員長 では次に、方法②パブリックコメントについてご質問ございませんか。

<質問等なし>

佐藤委員長 それでは評価に入ります。職員チーム会議では、適切であるとの評価ですが、適切であるとしてよろしいですか。

<異議なし>

佐藤委員長 続いて、No.8（仮称）人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略について説明をお願いいたします。

秘書政策課（赤
坂） 資料に基づいて説明。

佐藤委員長 4つの方法で実施したということですが、まず初めに、方法①関係団体等からの意見聴取についてご質問ございませんか。

佐藤委員長 対象者のところで、総合計画審議会がございましたが、これがまだ開かれていないということですか。

- 秘書政策課（赤坂） 方法④の有識者会議の構成員と3分の2以上が重複するので、関係団体からは除きました。
- 佐藤委員長 方法②意見交換会についてご質問ございませんか。
- <質問等なし>
- 佐藤委員長 当初の計画にはなかったようですが、方法③ワークショップについてご質問ございませんか。
- <質問等なし>
- 佐藤委員長 方法④花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議についてご質問ございませんか。
- <質問等なし>
- 佐藤委員長 それでは評価に入ります。職員チーム会議では、適切であるとの評価ですが、適切であるとしてよろしいですか。
- <異議なし>
- 佐藤委員長 次にNo.9新市建設計画（計画期間の延長）に入ります。秘書政策課より説明をお願いいたします。
- 秘書政策課（高橋） 資料に基づき説明。
- 佐藤委員長 2つの方法で市民参画を実施したとのことですが、方法①地域協議会、自治推進委員会からの意見聴取についてご質問等ございませんか。
- <質問等なし>
- 佐藤委員長 次に、方法②市民説明会の開催についてご質問等ございませんか。
- <質問等なし>
- 佐藤委員長 それでは評価に入ります。職員チーム会議では、適切であるとの総合評価ですが、改善の余地としては、結果の公表という評価ですが、これについては、いかがですか。公表しなかったということですか。
- 事務局（佐々木） 計画案の修正についての意見はなかったため、公表しなかったということで、意見ある・なしに関わらず、出席した人数だとかは公表した方がよかったのではないかという評価でした。
- 今村委員 職員チーム会議と同じでよいと思います。

<異議なし>

佐藤委員長 次にNo.10花巻市防災計画についてお願いします。

防災危機管理課
(赤沼) 資料に基づき説明。

佐藤委員長 初めに、方法①意向調査の実施についてご質問等ございませんか。

佐藤委員長 自主防災組織未結成が20行政区あるようですが、これは、組織されていく方向には進んでいるんですか。

防災危機管理課
(赤沼) この資料作成後、結成地区はプラス2となっています。大迫、石鳥谷、東和は100%結成済み。結成していないのは、旧花巻の町中が多くなっています。

佐藤委員長 方法②パブリックコメントの実施についてご質問等ございませんか。

<質問等なし>

佐藤委員長 それでは評価に入ります。職員チーム会議では、適切であるとの評価ですが、適切であるとしてよろしいですか。

<異議なし>

佐藤委員長 では、最後にNo.14花巻市生涯学習振興計画について、説明をお願いいたします。

生涯学習課(上野)
資料に基づき説明。

佐藤委員長 2つの方法で実施したとのことですが、まず、方法①市民アンケートについて、ご質問等ございませんか。

<質問等なし>

佐藤委員長 次に、方法②パブリックコメントについて、ご質問等ございませんか。

<質問等なし>

佐藤委員長 それでは評価に入ります。職員チーム会議では、適切であるとの評価ですが、適切であるとしてよろしいですか。

<異議なし>

佐藤委員長 これをもちまして、第11回市民参画・協働推進委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。